KB-eye

KB-eye for 交通誘導警備

さまざまな交通誘導を自動化・省人化する

AI交通誘導システム

NETIS登録番号：KT-190039-VE

交通誘導の 省人化

このシステムは、AIが枝道・脇道の誘導や工事車両出入口の誘導を行うため、さまざまな交通誘導の現場において省人化が可能です。国土交通省発注の現場での実績もあり、「人の代わり」に誘導することのできるシステムです。

受傷事故件数を ゼロ

人が立たずともシステムが誘導を行うことができるため、深刻な受傷事故のリスクがなくなり安全性が向上します。また、誘導員確保の手間もなくなり、生産性も向上します。

さらなる 付加価値

撮影された映像データや、測定された交通量データ(オプション)の活用により、今まででは実現できなかった新たな提案も可能です。単なる人からの置き換えに留まらず、現場に対して、より高い価値をもたらします。

「ただいま」を、当たり前に言える毎日を。

人が交通誘導を行う時代は終わりましたーー。
なぜその人は、そんなに危険な仕事をしなければならなかったのだろうか。
なぜ家族は、悲しまなければならなかったのだろうか。

私たちは、建設・警備に携わるすべての人が
当たり前のように「ただいま」と言って帰れる日を、毎日コツコツつくります。

KB-eye for 交通誘導警備とは

本来誘導員を配置しなければならない枝道・脇道や工事車両出入口にシステムを設置し、接近してくる車両や歩行者、二輪車等の接近をAIが検知し、音声で警備員に伝えます。また、専用のLED看板と連携することで、工事区間周辺の離れた場所から遠隔で誘導操作を行うことができます。
工事区間内の枝道・脇道の誘導はもちろん、現場事務所などにおける車両出入口の誘導など、さまざまな用途でご活用いただけるAI交通誘導システムです。

あらゆる現場での活用が可能　選べる３つのモード

工事区間の枝道・脇道誘導

工事現場区間内の脇道から進入してくる車両や人物、二輪車等の接近をAIが検知し、音声で警備員に伝えるとともに「止まれ」表示に切り替えます。オペレーターはその場にかけつける必要なく、リモコン操作で「進め」表示に切り替え、遠隔から脇道の誘導を行うことができます。

車両出入口での警報

工事車両の出入口などにおいて、一般車線から接近する車両・二輪車・歩行者を監視。接近をAIが検知し、工事車両に対して「接近中」の警告表示を行います。警備員が誘導する必要なく、工事車両出入口の安全を守ります。

車線規制での活用

車線規制工事において、KB-eyeはAIで接近車両を検知し、表示を自動切替します。通常は「工事中」を表示し、検知時は「早めに車線変更」へ切替。
無線通知と併せ、二重の安全対策を実現します。

製品仕様

製品名	KB-eye for 交通誘導警備[KO2-06]
外形寸法	KO2-06 : H1,750×W1,040×D1,000mm
通知形式	トランシーバーによる音声通知 ／ LED 看板による誘導表示
設置環境気温	-10℃～40℃（結露・凍結なきこと）
重量	KO2-06 : 約 100kg(総計)
電源供給	本体 : リチウムイオンバッテリー ／ LED看板 : 発電機
通信方式	インターネット接続
備考	・2024 年 10 月時点の仕様となります。 ・基本的な防水性能は備わっていますが、荒天の際には使用をお控えください。 ・今後製品開発により、仕様が変更されることがございます。ご了承ください。

KO2-06